

運用状況と組入銘柄について

ポイント

- ① 当戦略の投資銘柄は相対的に割安な状態
- ② 新たなM&A案件と新規組入銘柄のご紹介
- ③ 投資銘柄紹介（サブテーマ「研究・開発」より2銘柄）

■ 当戦略のパフォーマンスは軟調な動きが続いているものの、投資銘柄の今後の売上成長は見込まれており、かつ相対的に割安な状況

当戦略とはファンドの投資対象ファンドと同一ファンドの別シェアクラスを指します。

ファンドの投資銘柄における
ファンダメンタルズ分析

(2017年12月14日=100)



	2021年 4月末	2022年 5月末
売上高 成長率予想 (1年) *1	18.3%	32.8%
株価 売上高 倍率 *2	14倍	6倍

*1 中央値

*2 加重平均

株価売上高倍率は、時価総額を年間売上高で割った指標で、主に新興成長企業の株価水準をはかる指標として用いられます。低いほど株価が割安と判断することができます。

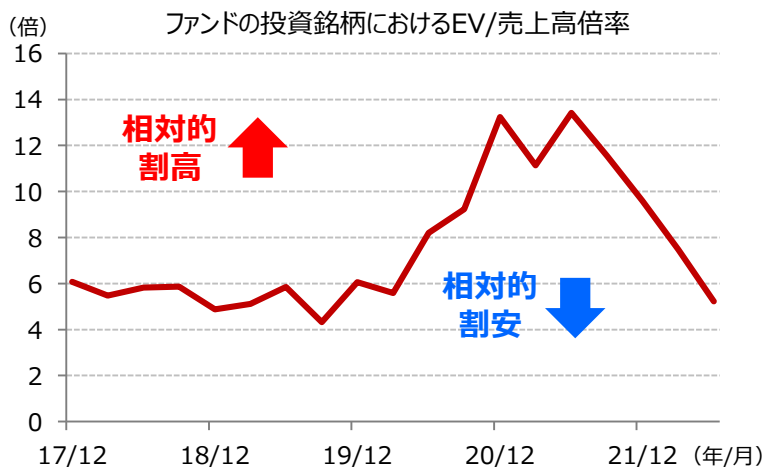
期間：2017年12月14日～2022年5月31日（日次）、各パフォーマンスは円換算ベース

当戦略は「クレディ・スイス（ルクセンブルク）デジタル・ヘルス・エクイティ・ファンド（米ドルクラス）」のグロスリターンから、当ファンドにかかる信託報酬（年率、税込：2.188%）を控除したものの。

当資料で使用了データについては6ページの「当資料で使用するデータについて」をご参照ください。

出所：Bloomberg、MSCI、クレディ・スイス・アセット・マネジメントのデータに基づきT&Dアセットマネジメントが作成

■ EV/売上高倍率は相対的に割安な状態に



➤ EV/売上高倍率は過去比較で相対的に割安な状態になり、魅力が高まっています。

➤ EVとは企業価値を表しています。EV/売上高倍率とは企業価値が売上高の何倍かを測定する指標です。通常数値が高ければ割高、数値が低ければ割安という判断をする指標として使われる傾向があります。

期間：2017年12月～2022年6月（四半期）、2022年6月のみ2022年6月9日時点

出所：クレディ・スイス・アセット・マネジメントのデータに基づきT&Dアセットマネジメントが作成

記載のデータは過去の実績であり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

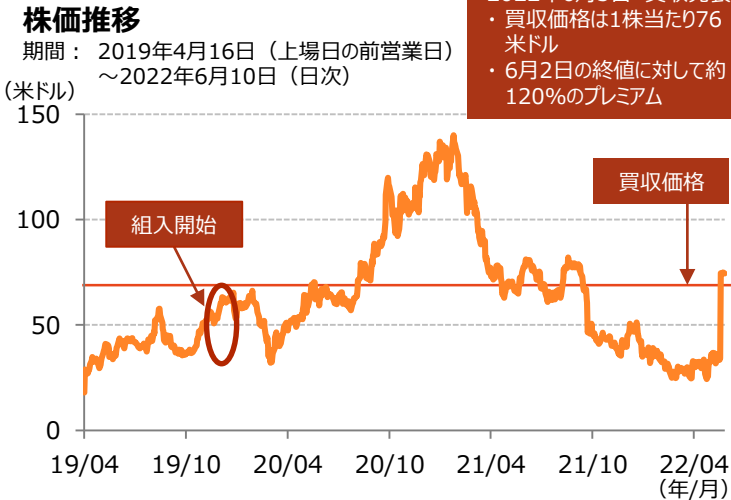
■ 投資銘柄における新たなM&A案件をご紹介（1銘柄）

ターニング・ポイント・セラピューティクス

2022年6月3日、米製薬大手 Bristol-Myers Squibb は、ターニング・ポイント・セラピューティクスを41億米ドルで買収すると発表。

ターニング・ポイント・セラピューティクスは、がんの遺伝的要因を対象とした治療法の設計と開発を行う米国のバイオ医薬品企業。

2019年12月から投資しており、2022年4月末時点
で0.84%保有。



出所： Bloombergのデータおよびクレディ・スイス・アセット・マネジメントからの情報に基づきT&Dアセットマネジメントが作成

年月	買収内容
2018年1月	米バイオ医薬品大手セルジーンによる米 ジュノ・セラピューティクス の買収
2018年5月	スイス製薬大手ノバルティスによる米 エイバックシス の買収
2018年6月	スイス製薬大手ロシュによる米 ファンデーション・メディシン の完全子会社化
2018年6月	米Verscend Technologyによる米 コティビティ の買収
2018年9月	米医療機器大手のメトロニックによるイスラエルの マゾール・ロボティクス の買収
2018年11月	米プライベートエクイティ投資会社のベリタス・キャピタルと投資ファンドのエリオット・マネジメントによる米 アテナヘルス の買収
2018年12月	英製薬大手グラクソ・スミスクラインによる米 テサロ の買収
2019年1月	米医薬品メーカーイーライ・リリーによる米 ロクソ・オンコロジー の買収
2019年6月	米製薬大手ファイザーによる米 アレイ・バイオフィーマ の買収
2019年6月	仏テクノロジー会社ダッソー・システムズによる米 メディデータ・ソリューションズ の買収
2019年11月	米グーグルによる米 フィットビット の買収
2020年8月	米遠隔医療サービス大手のテラドック・ヘルスによる米 リボンゴ・ヘルス の買収
2020年10月	米製薬大手 Bristol-Myers Squibb による米 マイオカーディア の買収
2020年12月	オランダの医療機器・ヘルスケア大手フィリップスによる米 バイオテレメトリー の買収
2021年4月	米マイクロソフトによる米 ニュアンス・コミュニケーションズ の買収
2021年12月	米ファイザーによる米 アリーナ・ファーマシューティカルズ の買収
2022年1月	米ストライカーによる米 ボセラ・コミュニケーションズ の買収
new 2022年6月	米 Bristol-Myers Squibb による米 ターニング・ポイント・セラピューティクス の買収

当戦略の
設定来で
買収が成立
17件

新たに追加
18件目

出所：クレディ・スイス・アセット・マネジメントからの情報に基づきT&Dアセットマネジメントが作成

記載のデータは過去の実績であり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
記載の企業は参考のために例示したものであり、当ファンドへの組入れを示唆・保証するものではありません。また個別銘柄を推奨するものではありません。

■ 新規組入れ銘柄をご紹介します（1銘柄）

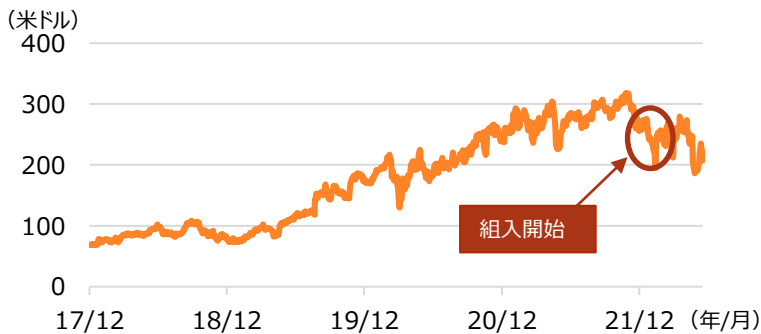
インシュレット

サブテーマ（治療、2022年1月投資開始）
インシュレットは、小型インスリン注入システムの開発、製造、販売をグローバルに展開する米国の医療機器メーカーです。同システムは数日間装着したまま携帯できるだけでなく、内蔵された血糖測定器によって血糖値に応じてインスリンの自動注入が行われる機能も備えています。

出所：Bloombergのデータおよびクレディ・スイス・アセット・マネジメントからの情報に基づきT&Dアセットマネジメントが作成

株価推移

期間：2017年12月15日～2022年5月31日（日次）



■ 投資銘柄紹介（今回は「研究・開発」より2銘柄を紹介します。）

3つの魅力的なサブテーマへ投資

治療（投資配分：約40%）

効率化（投資配分：約40%）

研究・開発（R&D）（投資配分：約20%）

投資配分は目安であり、今後変更となる可能性があります。
R&DはResearch and Developmentの略

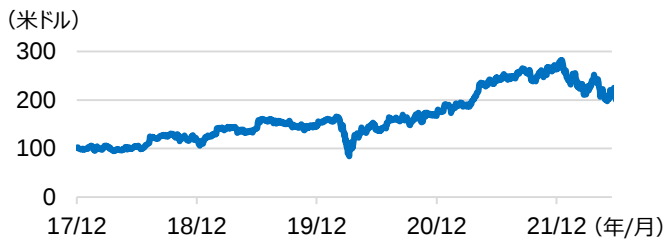
投資サブテーマ「研究・開発」

人々がより一層の健康を享受できる世界へ貢献する
ヒューマン・データ・サイエンス・カンパニー

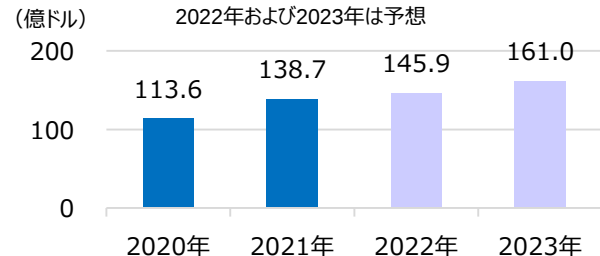
	IQVIAホールディングス
国・地域	米国
業種	ライフサイエンス・ツール/サービス

ヘルスケア業界向けの医療データ・分析・臨床試験サービスなどを世界で展開。世界の製薬会社から臨床試験業務を受託するほか、ヘルスケア企業のマーケティング・販売戦略支援や、マネジメントコンサルティングを行う。

株価推移 期間：2017年12月15日～2022年5月31日（日次）



売上高推移 期間：2020年～2023年（暦年度末）



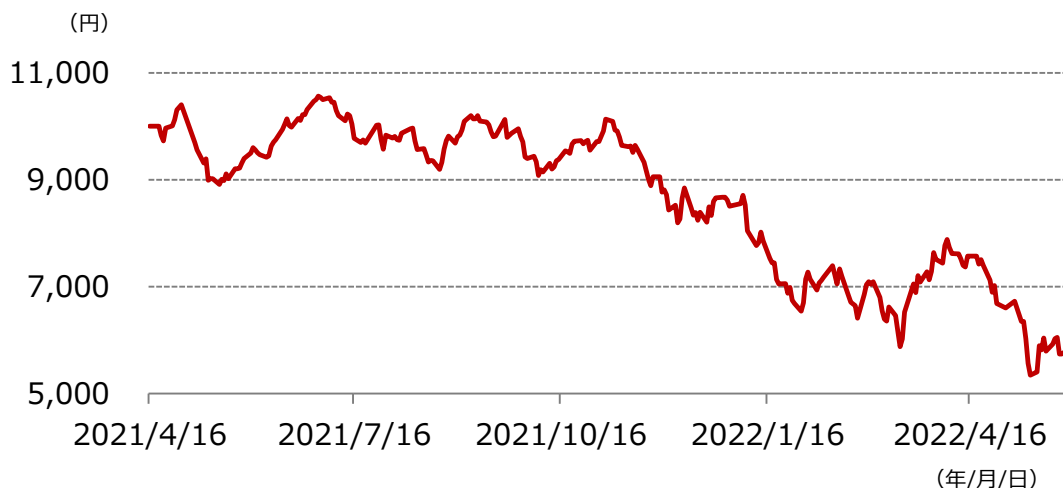
出所：Bloomberg、Factsetのデータに基づきT&Dアセットマネジメントが作成

記載のデータは過去の実績であり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

記載の企業は参考のために例示したものであり、当ファンドへの組入れを示唆・保証するものではありません。また個別銘柄を推奨するものではありません。

デジタルヘルス株式ファンド 基準価額の推移

期間：2021年4月16日（設定日）～2022年5月31日（日次）



記載のデータは過去の実績であり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

【ファンドの特色】

1 主として世界各国（日本を含む）のデジタルヘルス企業の株式等に実質的に投資します。

- 株式等への投資は、CS・インベストメント・ファンズ 2-クレディ・スイス（ルクセンブルク）デジタル・ヘルス・エクイティ・ファンド-EB JPYクラス（日本円クラス、以下、「主要投資対象ファンド」という場合があります。）への投資を通じて行います。
- 主要投資対象ファンドの運用は、クレディ・スイス・アセット・マネジメント（スイス）エイジーが行います。
- 主要投資対象ファンドにおける組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

【デジタルヘルス企業とは？】

従来のヘルスケアのシステムを根本から変えるポテンシャルを持った、**革新的なテクノロジーを持つ企業**をいいます。

2 株式等への投資にあたっては、ピュア・プレイヤーを厳選します。

- ピュア・プレイヤーとは、デジタルヘルス企業の中でも、デジタルヘルス分野からの収益の割合が50%以上を占める企業をいいます。
- ピュア・プレイヤーに厳選投資することで、デジタルヘルス分野以外の事業を多く行う企業の株式等が組み入れられることを防ぎ、よりファンドのコンセプトに沿った、デジタルヘルス分野の成長からの恩恵を享受できる銘柄選択を目指します。
- 投資プロセスの中にサステナブル投資フレームワークを形成するESGのアプローチを取り入れています。

※資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。

お申込みメモ

購入時	購入単位	販売会社が定める単位 詳しくは販売会社にお問い合わせください。
	購入価額	購入申込受付日の翌々営業日の 基準価額
換金時	換金単位	販売会社が定める単位
	換金価額	換金申込受付日の翌々営業日の 基準価額
	換金代金	原則として換金申込受付日から起算 して7営業日目からお支払いします。
申込締切時間		原則として午後3時までに販売会社が受 付けたものを当日の申込分とします。
信託期間		2026年4月13日まで (2021年4月16日設定)
決算日		4月11日 (休業日の場合は翌営業日)
収益分配		年1回、毎決算時に収益分配方針に 基づいて収益の分配を行います。販売 会社との契約によっては税引き後無手 数料で再投資が可能です。 ただし、必ず分配を行うものではありません。
申込不可日		下記のいずれかに該当する日には、 購入・換金の申込はできません。 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ロンドンの銀行の休業日 ・ルクセンブルクの銀行の休業日

ファンドの費用

◆ 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に、 3.3%（税抜3.0%） を上限として販売会社が個別に定め る率を乗じて得た額とします。 詳しくは販売会社にお問い合わせくだ さい。
信託財産留保額	ありません。

◆ 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理 費用 (信託報 酬)	ファンド	毎日、ファンドの純資産 総額に 年1.188% (税抜1.08%) の率を 乗じて得た額とします。
	投資対象とする 外国投資信託	外国投資信託の純資産 総額に対し、 上限年率1.0%
	実質的な負担	年2.188% (税抜2.08%) 程度 ファンドが投資対象とする 外国投資信託の信託報 酬を加味して、投資者が 実質的に負担する信託 報酬率について算出した ものです。
その他の 費用・ 手数料	・ 信託財産にかかる監査費用および当該監 査費用にかかる消費税等に相当する金額 は、受益者の負担とし、信託財産中から 支弁します。 ・ 証券取引に伴う手数料、組入資産の保管に 要する費用等は、信託財産中から支弁しま す。 ・ 組入外国投資信託においても、管理会社費 用、管理事務代行費用、登録および名義 書換事務代行費用、取引費用、弁護士費 用、監査費用等がかかります。 これらの費用・手数料については、運用状況等 により変動するものであり、事前に料率・上限額 等を示すことができません。	

上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される
期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

販売会社の名称等

販売会社		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
今村証券株式会社	金融商品 取引業者	北陸財務局長 (金商) 第3号	○			
株式会社SBI証券	金融商品 取引業者	関東財務局長 (金商) 第44号	○		○	○
大熊本証券株式会社	金融商品 取引業者	九州財務局長 (金商) 第1号	○			
八十二証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長 (金商) 第21号	○	○		
楽天証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長 (金商) 第195号	○	○	○	○

加入協会に○印を記載しています。

ファンドの関係法人

委託会社：T&Dアセットマネジメント株式会社

信託財産の運用指図等を行います。

受託会社：三井住友信託銀行株式会社

信託財産の保管・管理業務等を行います。

照会先

T&Dアセットマネジメント株式会社

電話番号：03-6722-4810

(受付時間は営業日の午前9時～午後5時)

インターネットホームページ：<https://www.tdasset.co.jp/>

当資料で使用するデータについて

当資料にて使用した各株価指数のデータはトータルリターンを使用しています。

グローバル株式：MSCIオール・カンTRIES・ワールド・インデックス

グローバルヘルスケア株式：MSCIオール・カンTRIES・ワールド・ヘルスケア・インデックス

●MSCIオール・カンTRIES・ワールド・インデックスはMSCIが開発した株価指数で、新興国を含む世界の主要国の株式市場の動きを捉える指数です。

●MSCIオール・カンTRIES・ワールド・ヘルスケア・インデックスはMSCIが開発した株価指数で、新興国を含む世界の主要国のヘルスケアセクターの株式市場の動きを捉える指数です。

同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。

当資料中に引用した各インデックス（指数）の商標、著作権、知的財産権およびその他一切の権利は各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

投資リスク

ファンドの基準価額は、投資を行っている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者に帰属します。したがって、ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、ファンドは預貯金とは異なります。

ファンドの基準価額の変動要因となる主なリスクは次の通りです。

- ・株価変動リスク
- ・為替変動リスク
- ・カントリーリスク
- ・流動性リスク

※基準価額の変動要因（リスク）は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 分配金に関する留意点
 - ・ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
 - ・ 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
 - ・ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- 大量の解約・換金申込を受け付け短期間で解約資金を準備する必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、投資する有価証券の価格が下落し、基準価額が変動する要因となります。また、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。

ご留意いただきたい事項

- 当資料はT&Dアセットマネジメントが作成した情報提供資料です。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料に記載された意見・見通しは表記時点での当社の判断を反映したものであり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。
- 投資信託はリスクを含む商品であり、株式および公社債等値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 購入のお申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断いただきますようお願い致します。投資信託説明書（交付目論見書）は販売会社にてご入手いただけます。

■ 設定・運用は



T&Dアセットマネジメント

商号等：T & Dアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第357号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会